

例 祭

平成二十二年八月二十二日 午前九時齋行

式次第

先づ手水の儀あり

時刻宮司祭員献幣使役員総代及び氏子崇敬者社務所前に列立す

次に対揖、畢りて宮司献幣使以下諸員参進

次に宮司献幣使以下諸員国旗掲揚搭前に著く

次に諸員全員にて国歌を斉唱し国旗を掲揚す

次に宮司献幣使以下諸員参進

次に宮司献幣使以下諸員撰社拝殿に著く

次に修祓

其の儀、祓主祓詞を白す

次に所役大麻・塩湯を執りて、宮司・祭員、献幣使・同随員、

役員総代及び氏子崇敬者の順に祓ふ

次に宮司玉串を奉りて拝礼

次に宮司献幣使以下諸員参進

次に宮司献幣使以下諸員本社拝殿の所定の座に著く

次に宮司一拝

諸員之に倣ふ

次に宮司本殿の御扉を開き 畢りて側に候す

此間奏楽、警蹕諸員平伏

次に祭員神饌を供す

此間奏楽

其の儀 陪膳は本殿案前に 膳部は神饌所に 手長は各其の位置に著き

懐笏して候する 次に順次神饌を供し 畢りて下位の者より本座に復する

次に宮司祝詞を奏す

此間諸員警折

次に本庁幣を献す

其の儀 副斎主は本座を起ち、随員より本庁幣を受け、

昇階して案上に献った後、本座に復する

次に献幣使祭詞を奏す

祝詞後取 未定

次に神楽人長舞を奏す

次に宮司玉串を奉りて拝礼

其の儀 先づ後取は所定の位置に薦を敷き案を設く

薦後取 隅川 案後取 安達

次に後取は宮司に玉串を進む

祭員座後列拝、伶人自座列拝

次に献幣使玉串を奉りて拝礼

此間奏楽、随員座後列拝

次に役員総代氏子崇敬者玉串を奉りて拝礼

此間奏楽

玉串拝礼畢りて 後取は玉串案并薦を撤す

玉串後取 隅川 薦後取 隅川

次に本庁幣を撤す

此間奏楽

次に神饌を撤す

諸員之に倣ふ

陪膳 橋本 手長 平岡

次に宮司一拝

次に宮司献幣使以下諸員退下

太鼓所役 石原

献幣使及び同随員は社務所に著く

前導 一 安達

宮司祭員役員総代及び氏子崇敬者は神門前に著く

此間奏楽

次に宮司以下諸員は列次をなして鳥居まで渡御す

白 石 賢 一

畢りて諸員社務所に著く

此間奏楽

高 桑 賢 治

次に社務所にて直会

此間奏楽

山 村 康 夫

献幣使 神社庁理事

吉田 修

助祭員 杉山神社禰宜

平岡 好晃

同随員 神社庁録事

萩原 順一郎

齋主 宮司

飯塚 充

副齋主 権禰宜

橋本 孝太郎

伶人・笙 皇月雅楽会

白 石 賢 一

祭員 権禰宜

石原 誠人

伶人・箏 皇月雅楽会

高 桑 賢 治

祭員 権禰宜

安達 大輔

伶人・龍笛 皇月雅楽会

山 村 康 夫

祭員 権禰宜

隅川 由紀恵

舞人 皇月雅楽会

越 後 眞 美

(敬称略)